

登米市で作られる「安全・安心」という名のブランド。これはわたしたち市民にとって、かけがえのない財産です。

普段何気なく口にしている「食」には、消費者へ「安全・安心」を届けるために、努力し続け生産する人、創意工夫し販売する人、真心を込めて調理する人などのさまざまな思いや気持ちが含まれています。

わたしたち消費者も、食べることでできる喜び、「安全安心」な食材が食卓に届くありがたさなど感謝の気持ちを、常に持つていることが必要ではないでしょうか。

現在市内では、郷土の食文化を継承していくことや生涯健康で生き生きと暮らすために、地産地消の取り組みが進み、食育の活動も広がっています。

これらの取り組みや活動は、忘れてしまいがちになる「食」について見直す良い機会であり、生産者、販売者、消費者などすべての人にとってはもちろんのこと、自然や環境にも大変素晴らしいことです。

わたしたち人間にとって一番大切なのは「健康」。その健康の裏側には必ず「食」があります。

わたしたちの財産である「食財」について、もう一度考えてみてはどうでしょうか。

特集「食を考える」 終わり



地元食材を使った「安全・安心」な給食を味わう保護者とその児童（津山町柳津小）